

◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 野外調査研究所

代表者：理事長 吉川 國男

URL :

1. 活動が必要とされた状況

自然交配とみられる大振りで見られる深紅色の花弁をもつサクラが発見されたので、発生原因、分類学上の位置、増殖の可能性などの調査研究が必要となった。



周辺に生育する桜との比較

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・既存資料の整理 12月～2月 2人 平成25・26年に得られた写真、計測数値、観察録等の整理。
- ・発生地での地理学的調査 1月 1人
- ・平成26・27年度計画の年度企画 12月・1月 2人。
- ・発生原因及び移植・保護措置の調査 10月～12月 2人 聞き書き、日誌等の探索、記録。
- ・サクラを含む周辺の植生調査 1月～3月（至る4月） 2人 既存データ探索、木本調査
- ・イワタザクラの分類学上の位置の調査 2月・3月 2人
- ・ " 標本作成 2月・3月（至る4月） 2人 準備、実施。
- ・ " 接ぎ木の実施 2月・3月 2人
- ・組織培養等増殖の可能性調査 2月・3月（至る6月） 1人

3. 活動の成果

既存作成資料の整理により、花、葉の計測数値・形態・色調の概要を把握でき、きわめて珍しいサクラの部類であることが判明した。

4. 今後に残された課題

- ・分類学上の調査は通年（2年にわたる）で、継続調査することが必要である。
- ・分類学上の位置づけについては、なお慎重に調査が必要である。
- ・増殖の可能性調査、普及についても継続調査が必要である。

